

ヨコハマトリエンナーレ 2017 について



1 開催概要

- (1) タイトル ヨコハマトリエンナーレ 2017「島と星座とガラパゴス」
- (2) 会 期 平成 29 年 8 月 4 日（金）～11 月 5 日（日）
- (3) 会 場 横浜美術館、横浜赤レンガ倉庫 1 号館、横浜市開港記念会館地下
- (4) ディレクターズ 逢坂恵理子、三木あき子、柏木智雄
- (5) 構想会議 スハーニャ・ラフェル、スプツニ子！、高階秀爾、
リクリット・ティラヴァーニャ、鷲田清一、養老孟司
- (6) 主 催 横浜市、（公財）横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、
横浜トリエンナーレ組織委員会
- (7) 支 援 文化庁（国際芸術フェスティバル支援事業）
- (8) 特別協力 独立行政法人国際交流基金、（公財）神奈川芸術文化財団
- (9) 後 援 外務省、神奈川県、神奈川新聞社、tvk（テレビ神奈川）
- (10) 特別協賛 寺田倉庫
- (11) 協 賛 日産自動車株式会社、三井不動産グループ、三菱地所グループ、
スターツグループ、すてきナイスグループ株式会社、
株式会社高島屋 横浜店、株式会社富士通エフサス、森ビル株式会社、
横浜銀行、上野トランステック株式会社、東日本電信電話株式会社、
株式会社大林組、公益財団法人大林財団、川本工業株式会社、
株式会社キタムラ、株式会社崎陽軒、株式会社サカタのタネ、NEC、
原鉄道模型博物館、富士ゼロックス株式会社、横浜信用金庫
- (12) 助 成 公益信託タカシマヤ文化基金、
フランス大使館/アンスティチュ・フランセパリ本部
- (13) 認 証 beyond2020 プログラム※



※内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック
競技大会推進本部事務局（beyond2020 プログラム事務局）が
認証する日本文化の魅力を発信するとともに、2020 年以降を
見据えたレガシー創出のための文化プログラム。

2 今回展の特徴

(1) 「接続」と「孤立」をテーマに、世界のいまを考える

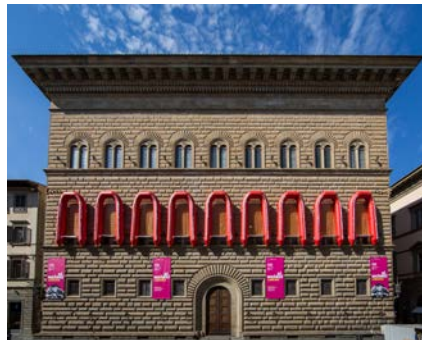
<島><星座><ガラパゴス>は、接続や孤立、想像力や創造力、独自性や多様性などを表すキーワードです。「接続」と「孤立」をテーマに、世界の状況について考えていきます。

(2) 約 40 組の厳選された作家の個展群が星座のように連なり、作家の創作世界が体験できる

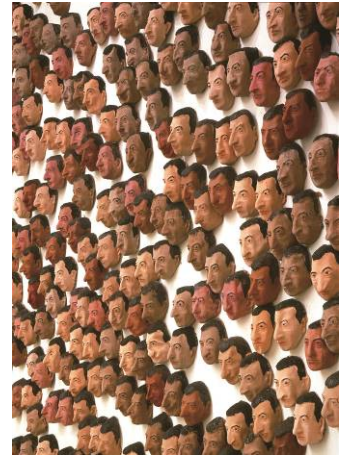
アーティストを約 40 組程度に厳選し、その多くが複数作品を展示することで、小さな個展群が緩やかにつながり、星座あるいは多島海をかたち作るように展覧会を構成します。



パオラ・ビヴィ 《I and I (芸術のために立ち上がらねば)》 2014
Photo: Guillaume Zicarelli Courtesy of the Artist & Perrotin



アイ・ウェイウェイ (艾未未) *ReFrame*, 2016
Exhibition view at Palazzo Strozzi, Photo: Alessandro Moggi ©Ai Weiwei Studio



マウリツィオ・カテラン 《スベルミニ》 1997
Photo: Attilio Maranzano
Courtesy: Maurizio Cattelan's Archive and Perrotin gallery



クリスチャン・ヤンコフスキー 《重量級の歴史》 2013
Photographer: Szymon Rogynski Courtesy: the artist, Lisson Gallery



ワエル・シャウキー
《十字軍芝居 III: 聖地カルパラーの秘密》より 2015
© Wael Shawky: Courtesy Lisson Gallery

(3) 美術以外の「他ジャンルとの接続」「対話」を重視した取組

ア 美術以外のメンバーを含む「構想会議」により、タイトルとコンセプトを議論し決定

イ 会期前（平成 29 年 1 月）から公開対話シリーズ「ヨコハマラウンド」を実施

(4) 開港の歴史を踏まえた横浜の街を活かした開催

横浜赤レンガ倉庫 1 号館を会場として使うほか、今年 100 周年となる横浜市開港記念会館の普段公開していない地下を使うなど、横浜の歴史に焦点を当てて開催します。



【横浜市開港記念会館】

3 主な取組内容

(1) 幅広い来場者に分かりやすく展覧会の魅力を伝える取組

作家や作品の情報を盛り込んだガイドブックや、スマートフォンアプリによる音声ガイドを日英2か国語で無料提供します。また、WEBサイトを多言語（日英を含む9言語）で用意します。

(2) 誰もが鑑賞しやすい取組

- ア 障がいのある方及びその介護者（1人）は入場無料
- イ 会場間無料バス（ノンステップバス）の運行
- ウ 各会場での車椅子の貸出
- エ バリアフリーで来場いただけるルートのWEBサイト公開 など

(3) 次世代育成の取組

- ア 中学生以下入場無料
- イ 子ども向け鑑賞ポケットガイドを市内全小中学校等の児童・生徒に配付
- ウ 事前ガイダンス付きの学校団体鑑賞プログラムの実施
- エ 子ども向けワークショップの実施 など



【前回展の様子（左から子ども向け鑑賞ポケットガイド、事前ガイダンス、小学生向けワークショップ）】

(4) 横浜トリエンナーレサポーターの活動

（サポーター登録人数 1,396 人／平成 29 年 5 月 1 日現在）

- ア ビジターサービスセンターでの来場者への会場周辺情報等の提供
- イ 作品ガイド活動（事前ガイダンス/ギャラリー・ツアー）
- ウ アーティストの作品制作や運営サポート
- エ フリーペーパーの発行 など

(5) 連携によるまちへの広がり

ア 連携プログラム

- ・ BankART1929 及び黄金町エリアマネジメントセンターの事業とのセット券を販売
- ・ パラトリエンナーレをはじめとする創造限界拠点等のプログラムと連携

イ 応援プログラム

公募により集まった、会期中に市内で開催される様々なイベント・企画との広報連携

【連携プログラムの例】



© BankART1929

BankART Life Vー観光

「観光」をテーマに、歴史的建造物等、横浜を形成してきた様々なエレメントの断面を巡り、新しい横浜を発見する時間旅行プログラム。

会場：BankART Studio NYK

会期：8月4日（金）～11月5日（日）



Photo by Yasuyuki Kasag

黄金町バザール 2017

ーDouble Façade 他者と出会うための複数の方法

国内外のアーティストの滞在制作と作品展示の他、地域住民が主体となって行うイベントなど多彩な内容で展開。

会場：初黄・日ノ出町地区（黄金町エリア）

会期：[vol.1] 8月4日（金）～9月13日（水）

[vol.2] 9月15日（金）～11月5日（日）



Photo:427FOTO

ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2017

障害のあるなしに関わらず多様な市民やアーティストらが対等な立場で芸術活動に取り組むことで、寛容性のある共生社会の実現を目指すアートプロジェクト。

会場：象の鼻パーク、象の鼻テラスほか市内各所

会期：5月27日（土）～12月下旬予定



untitled(hula-hoop) (2005-2015)
Photo：木暮真也

YCC Temporary 鬼頭健吾

美術家 鬼頭健吾による大型インタスレーションを YCC ヨコハマ創造都市センターの3階全域を使用し展示。

会場：YCC ヨコハマ創造都市センター 3階

会期：8月4日（金）～9月17日（日）



【前回展の公式バッグ】

(6) グッズ展開

メインビジュアルやトリエンナーレロゴ等を使用した公式グッズを販売します。
また、ショップでは、市内クリエイターが制作したグッズ等も販売します。

(7) 国内外ネットワークの構築

トリエンナーレに合わせて、次の会議の横浜開催が決定しました。9月下旬に開催されることを契機に、国内外のネットワークを広げていきます。

ア 第4回 IBA*総会 (9月26日)

※IBA: International Biennale Association。世界の国際展ネットワーク組織
(45か国、114の団体と個人/平成29年4月現在)。

イ 創造都市ネットワーク日本(CCNJ)国際展部会 (9月27日)

※CCNJ: Creative City Network of Japan (89自治体、35団体/平成29年3月現在)
※CCNJ 国際展部会 (11団体/平成29年5月現在)

4 チケット



(1) 価格

	一般	大学・専門学校生	高校生
鑑賞券	当日 1,800 円 (前売 1,500 円)	当日 1,200 円 (前売 900 円)	当日 800 円 (前売 500 円)
セット券*	当日 2,400 円 (前売 2,100 円)	当日 1,800 円 (前売 1,500 円)	当日 1,400 円 (前売 1,100 円)

※セット券: 「BankART Life V」「黄金町バザール 2017」のパスポートがセットの券

(2) チケット取扱場所

公式オンラインチケットサイト、横浜美術館、横浜赤レンガ倉庫1号館、
BankART Studio NYK、黄金町アートブックバザール、プレイガイド、鉄道駅売店など

5 今後のスケジュール

8月3日(木) 内覧会、オープニング式典

8月4日(金)～11月5日(日) 会期

〈参考〉 横浜トリエンナーレ組織委員会平成 29 年度予算

収入

項目	予算	備考
横浜市負担金	4億 5,150 万円	
文化庁補助金	1億 8,000 万円	
協賛金・助成金	3,500 万円	
入場料収入	1億 6,880 万円	
その他収入	3,476 万円	
計	8億 7,006 万円	

支出

項目	予算	備考
展示制作費	1億 9,500 万円	展示制作費、作品借用料、作品輸送費 等
会場費	3億円	会場の設営費、会場利用料、会場運営費 等
広報費	9,500 万円	記者会見経費、広報物制作費、フラッグ等掲出費 等
事業費	1億 1,900 万円	会場間バス、ガイドブック、入場券販売手数料、市民協働事業 等
事務局費	1億 6,106 万円	専門スタッフ委託、事務局運営費、管理費 等
計	8億 7,006 万円	